

小説「赤毛のアン」

小学校を転校し、友達と話しにくかった時期、学校の図書館によく通っていました。そこで読んだのが小説「赤毛のアン」です。

どんな環境でも前向きで、人生を切り開いていく主人公のアン。すてきな生き方を選択できる人だと思っていました。自分の将来像をアンの人生に重ねたどりながら読んでいました。

アンみたいに先生になりたいと思い、大学を卒業後、鹿児島県の中学校で国語の教員になりました。退職した今は、心理カウンセラーとして子供たちをサ

こころの一作

心理カウンセラー
坂元 誉子さん

ポートしています。子供たちには、価値観が多様化した世の中を生き抜く人になってほしいと思います。

そのための一つの方法として、絵本の読み聞かせを通して子供たちの生きる力を育てる「絵本コーチング」をしています。今振り返ると、教員一筋ではない生き方もアンと同じになったなと思います。



こんな人 愛知県内の学校での活動をはじめ、全国を講演で飛び回る日々。お薦めの絵本は「ほんとうにたいせつなもの」。名古屋市西区在住。35歳。

(次回は6月21日)

前向きに人生切り開く